

第1回地域連携研修会 ～施設における感染対策～

令和元年6月3日発行

感染の種類や特徴、どのように感染するのかという感染経路について基本的な事を学べる講義となりました。感染の有無にかかわらず、血液・体液・粘膜・正常でない皮膚は感染の可能性があるものとして対応することが、自分自身を守り、患者さんや利用者さんを守る事に繋がるという標準予防策の重要性を理解できる内容でした。

また、病院や施設で利用者さんや患者さんが嘔吐した時の吐物処理の正しい知識と実施方法について、デモンストレーションした後に参加者の中から実演していただきました。実際に経験してみると正しい対応方法を理解していただけたと感じます。

5月23日 令和元年度初めての地域医療研修会を開催いたしました。今回は「施設における感染対策」をテーマに、実技を含めた研修会が行われました。10施設から23名の方が参加して下さいました。



標準予防策実施の様子



吐物処理実施の様子

～アンケートより～

アンケート回収 22 枚

1. 開催時期は適切でしたか
適切 21 名 無回答 1 名
適切理由 (施設内で胃腸炎が出たため)
無回答理由 (流行時期に行なっていただければ良かった)
2. 所要時間は適切でしたか
適切 22 名 不適切 0 名
理由 (わかりやすくまとめた時間だった為良かった)
3. ノロウイルス対策、手洗い検証、PPE について理解できましたか
できた 22 名 できなかった 0 名
4. 今後、日々の業務に活かそうですか
活かそう 22 名 わからない 0 名

～ご感想～

- ・ 今後の業務に活かそうです。実際に遭遇した際に冷静に対応できるようにしたい。
- ・ 何回か監修を受けていたが、忘れていたところもあり初心に戻って研修を受けて良かった
- ・ 実際に体験して手順を忘れてしまって改めて手順や処理の仕方が勉強になりました。

たくさんの方々にご参加いただきありがとうございます。自分や相手を守り、自分が感染媒体にならないよう、感染対策がとても重要であるという事を実感していただけたと感じます。次回は、6月20日(木曜日) 高齢者の栄養についての技術研修を予定しております。たくさんのご参加お待ちしております。

